



## 失敗体験は何のため？

9月17日に、第2回こども園ありかた検討会が実施されました。各園から保護者代表の方に参加いただき、保護者の立場での意見をしっかりと伝えていただいています。

その中で、失敗体験が幼児期になぜ必要かわからなかったが、今回色々な説明を聞いてよくわかったという意見がありました。園では、色々な取り組みについて説明していると思っ  
ていても、十分に伝えられていないということ改めて再認識しました。色々な場面で、伝え  
ていきたいと思えます。

失敗体験は何のために必要なのでしょうか？

人生の中で壁にぶち当たることは必ずあると思いますが、いくらまわりが励ましても立ち直  
るのは本人の力です。幼児期から、失敗したり葛藤を繰り返すことで、自分なりの切り替え  
方や立ち直り方を体得して行ってほしいという思いが、私の中にはあります。

好きな歌詞に「失敗の数だけ増えようが、間違いなんて誰が笑えようか…『いつの日』か  
が今日の日、目覚めない夢に、訪れる日まで」というフレーズがあります。

失敗しても、夢に向かってつき進める子ども達になるためには、どんな関りが必要か一緒  
に考えていきたいですね。

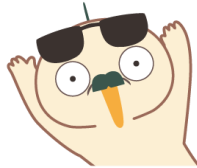
園長 長谷部 弥生

## 避難訓練に伴う引き渡し訓練について

本日は引き渡し訓練へのご協力、ありがとうございました。石川県での災害など、甚大な  
災害がどこで起こるかわかりません。訓練後はしっかり振り返りをして、大切な子ども達の  
命を守る行動が取れるように取り組んでいきたいと思えます。

共育(ともいく)  
コーナー

たまげたわい



## お辞儀の巻

運動会シーズン真っ盛り。各園にて挨拶をすると、私がお辞儀をした後に、「ちょこ  
ん！」と膝を曲げて、腰をかがめて深々と頭を下げ続けるこどもの姿が目をひきました。

日本の礼法では、『思いやりの心』『敬いの心』『慎みの心』を表現するのに“所作”  
(振る舞い)を大切にしています。“所作”の中で最も重要なのが、相手に対して敬意や感  
謝の心を表現するために身体を屈める“お辞儀”なのだそうです。そして“お辞儀”は、相手  
に心を通わせる為のものです。だからこそ、心を通わせる為のポイントは相手とタイミン  
グを合わせることです。

“お辞儀”とは、頭を下げたり、体を傾けたりした瞬間の一場面(すれば良いといった)  
ではありません。最初から最後まで、一連の“所作”の全てが“お辞儀”であり“礼”だと言われ  
ています。そして、“お辞儀”をして元の姿勢に戻っても、相手の心に残るようになりたい  
ですね。

にちなん十色の子どもたちだけでなく大人も含めて、お互いの“お辞儀”に見とれるよう  
な町づくり、人づくりを一緒にしていきたいですね。